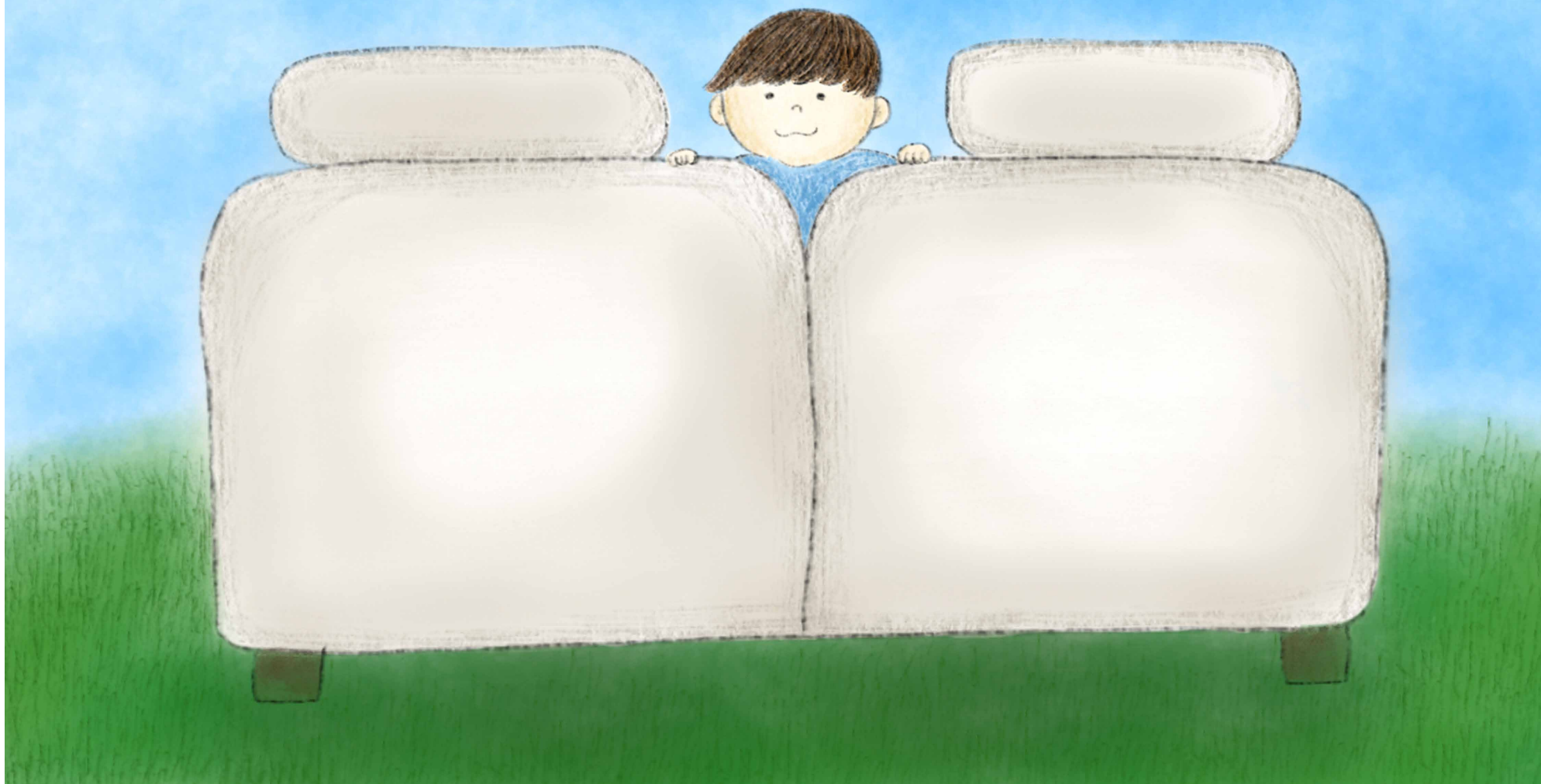


ソファーのぼろけん





めがさめると、そこはリビングのソファでした。

ぼくはうっかりソファでいねむりをしていたようです。

「おーい、おーい」

おや？どこからか、こえがするぞ・・・



ぼくはまわりをみまわしました。

「おーい、おーい」

どうやらソファーの中から聞こえてくるようです。



そーっと、なかをのぞいてみると、

そこは・・・青い、空！？・・・

っと、そのときです



「わーーーーー！」

とつぜん、ぼくはからだごと

空の中にすいこまれてしまったのです。



ぽ～ん ぽ～ん ぴよ～ん！

そこは、ばねのようなじめんで、

ぼくはなんどもはね返りました。



ここは一体どこなんだろう・・・

するとうしろの方から声がしました。

「やあ、よくきてくれたね。」



「ここは、ソファーの中だよ。

もちろん、君がさっきまでいねむりをしていたね。

ぼくはこの世界の番人。ソフィアってよんでくれ。」



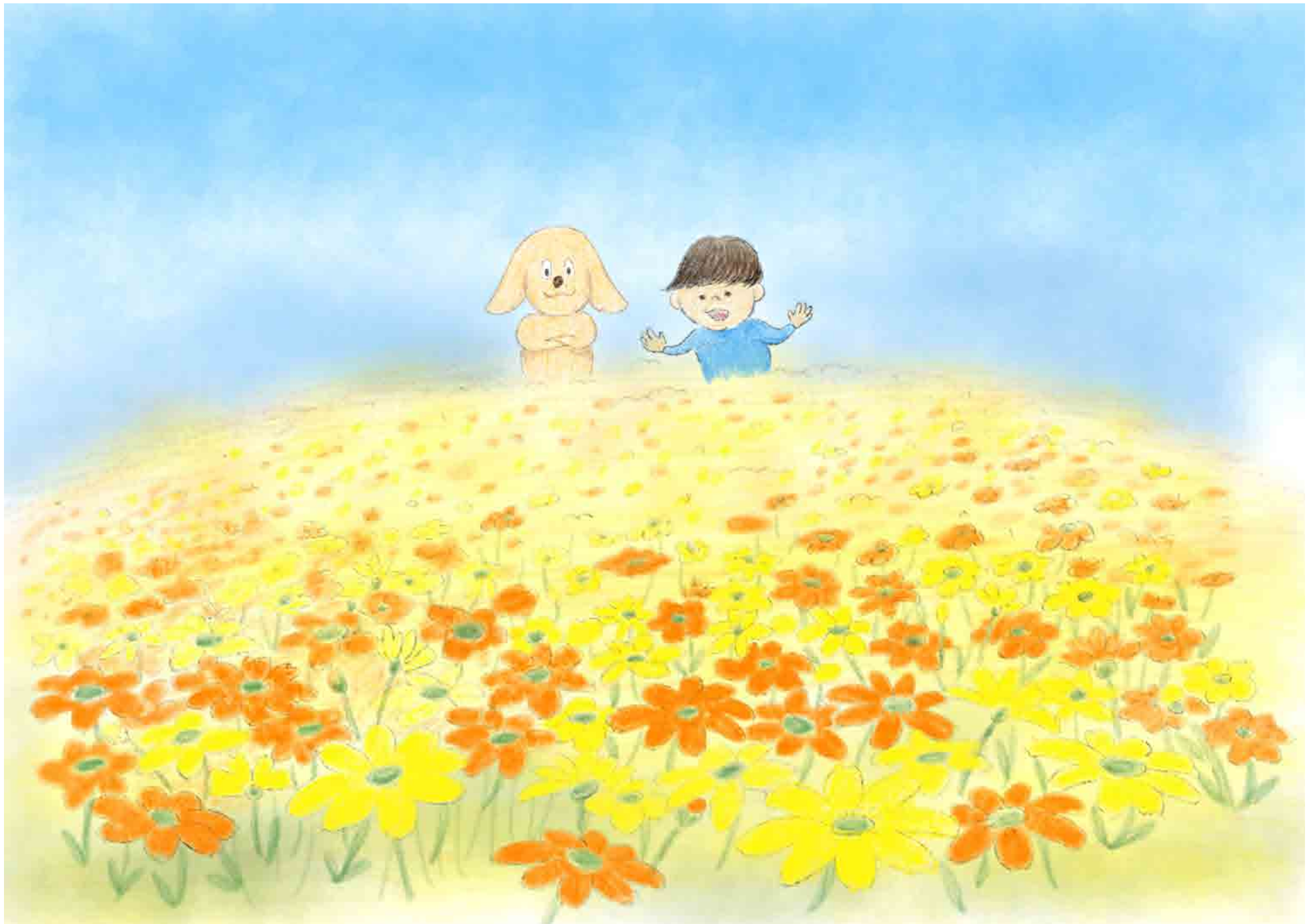
「ソフィア・・・？」

ぼくがきょとんとしていると、ソフィアが言いました

「さあ、時間がないぞ！ 急いで行こう」

待って待って！ どこへ行くんだい？

ぼくは走ってソフィアを追いかけました。



しばらくすると、きれいなお花畑が広がってきました。

「うわ～～！ なんてきれいなんだ！」



「さあ、うーんと大きな花束をつくるよ！」

そういいながらソフィアはお花をつみはじめました。

ぼくも夢中になってお花をつみました。



ととてもりっぱな花束ができあがったころ、
空から光がさしてきました。



光とともにあらわれたのは、
なんともきれいなめがみさまです。
ぼくはめがみさまに花束をわたしました。
するとめがみさまは言いました
「なんて素敵なお花なんでしょう！」



「お礼に、この指輪をさしあげましょう。」

「こ、これは・・・！」

ぼくはその指輪にみおぼえがありました。

「そうだ！ママがなくした大切な・・・」



「・・・あれ？めがみさま？ソフィア～！

みんなどこへいったんだ？」

いつのまにか、あたりはまっくらでだれもいません。



ぼくはまた、めがさめました。

そこはいつもと同じ、リビングのソファー。

となりにはパパとママがすわっています。



ぼくは大あわてでソファーの中をのぞきこみました。

するとママがさげびました「こんなところにあったのね！」

そこにはママがなくした大切な指輪がありました。

「みつけてくれてありがとう。」



その日、ぼくはパパとママに
ソフィアとめがみさまの話をしました。
とてもしあわせな時間でした。
たのしかったソファアのぼうけん、
またいつか、いけるかな？

NOYES
SOFA 100%

2018年2月17日発行

著者 吉川 えり

発行者 株式会社 NOYES

第6回 NOYES 絵本コンクール ZIP 賞作品